

諫早市教育委員会議事録

令和 7 年第 1 1 回（1 1 月定例）

令和 7 年第 1 1 回（1 1 月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和 7 年 1 1 月 1 9 日（水）
1 6 時 3 0 分～1 7 時 2 5 分
- 2 場 所 諫早市役所 7 階 会議室 7－1
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 石橋 芳秋
教育総務課長 池 政信
学校改革推進室長 青木 信高
学校教育課長 山口 隆
生涯学習課長 松原めぐみ
- 5 議 題
議案第 1 3 号 諫早市立義務教育学校の校名について

議事録署名人の指名

山口委員と中野委員を議事録署名人に指名

議事録の承認

令和7年第10回（10月定例）教育委員会の議事録について
中野委員から自身の発言について修正の意見あり
一部修正を了承の上可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告》

今回、学校改革推進室の現状と今後の展望ということで特集した。

令和4年4月に学校改革準備室を立ち上げた。令和5年4月に学校改革推進室に格上げした。室長他3名で構成され、教育総務課に所属している。

目的は、すべての小・中学校を俯瞰的にとらえ、学校の適正規模・適正配置を推進する。諫早には過小規模校と大規模校があり、特に複式学級がある過小規模校や空き教室が不足している大規模校の通学区域の見直しや統廃合を含めて、様々な角度から現在検討を行っている。また、幼保小、小中、小中高の連携教育を推進すること、小中一貫教育、小中一貫校、義務教育学校の研究を推進している。その研究の成果として、小長井の義務教育学校を立ち上げている。令和10年4月に小長井小学校と小長井中学校を統合して、本市で初の義務教育学校を開校する。校名については、先般の小長井地域義務教育学校開校準備委員会で3案に絞られ、本日この定例教育委員会で審議をし、校名候補として決定したいと考えている。また、来年度には校歌と校章を決定し、校舎や体育館の建築も始まる予定になっている。なお、特色ある教育内容については、現在、検討をしているところである。

諫早市立学校適正規模・適正配置検討準備会を11月13日に発足した。委員が9名、畑中大路長崎大学大学院准教授に委員長をお願いし、小中学校の適正規模・適正配置について意見を聴取することとし、令和9年度中に一定の方向性を出せればと考えている。

2番目に「人が輝く諫早市」ということで、いろんなところに行き、感動をもらい、様々な体験をし、人と人との交わりの素晴らしさを実感した。「秋満喫」といった感じです。

まず、諫早地区の高校生弁論大会が11月9日に健康福祉センターで諫早ライオンズクラブ主催であった。今回は、諫早市内の公立8高校の代表が集まり、「私が思うこと」と題して、普段の思いや学校生活、部活動、将来の目標などを堂々と発表した。この弁論大会は、原田委員も中心になって運営されており、「今年も素晴らしい内容でよかった」と委員と話したところであり、諫早市の若者の力強さや頼もしさを感じた。

11月16日に真崎小学校の創立150周年記念式典があった。明治8年、1875年に、津水に公立中等真崎小学校として産声を上げ、明治、大正、昭和、平成、令和と長い歴史のなかで「地域と共にある学校」としての一貫した姿があった。一時は千人の子供がおり、多かったので真城小学校ができたという歴史がある。大久保市長も式辞の中で、「真崎小学校の輝かしい歴史と伝統がこの先も脈々と受け継がれ、地域に根ざした教育活動がますます発展していくことを祈念します。」と言われた。諫早農業高校の「肥前太鼓」も披露され、多くの来賓や地域の方々、保護者も詰めかけて、伝統校の誇りと感激を共有して更なる飛躍を誓った。子供たちの発表も非常に良かった。特に6年生の元気な姿が印象的だった。

地域演劇「江ノ浦の善吾郎」が、11月16日にいいもりコミュニティ会館であった。ナレーターは秋山大輝くんです。これは飯盛地区の人たちが毎年演劇をやっており、今年は「ながさきピース文化祭2025」の一環として大々的に行われた。

11月の行事から、県の中学校駅伝大会が6日にあり、男子は諫早中学校が第2位、喜々津中学校が第10位、女子は明峰中学校が第6位、諫早中学校が第7位でした。九州大会が29日に本県で開催され、男子の諫早中学校、喜々津中学校、女子の明峰中学校が出場予定です。男子の諫早中学校は、最後に競ってゴールしたということで全国大会があと少しという感じだったがよく頑張った。

連合生徒会が17日にあり、各学校の取り組みの報告と今後の取り組みについてのグループ協議をした。1月に、生徒会議会を開きたいと思っている。一般的には市長や教育長、部長がおり、生徒が

質問してそれに答弁するスタイルだが、この生徒会議会は、質問も答弁も生徒たちがするため質問内容によっては、専門的な話やアドバイスを受けた方がいい内容があるので、事前に部長やそういった関係の人たちに聞いて、勉強して、そして答弁するという今までにない形を考えているため楽しみにしているところです。

21日は、真津山小学校で研究発表会の中間発表がある。

同じ日に15時から教育委員会表彰の表彰式を市役所の大会議室で行う。今回表彰される方は、2団体個23人です。

22日に県のPTA研究大会諫早大会が小野体育館、小野ふれあい会館であり、参加する予定にしている。

28日から12月議会です。

30日は、西諫早小学校創立50周年記念式典がある。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

学校改革推進室の目的のところ、幼保小、小中、小中高との連携教育とあるが、小長井の義務教育学校以外に、他の校区にどのように広げていくように研究をしているのか具体的に教えてほしい。

[教育長]

連携教育については、幼稚園、保育園と小学校が集まって会議をした。いろんな意見が出た。今までは、幼稚園、保育園、それから小学校、中学校と、ポツンポツンと点だったが、これからは連携しながら、一人のこどもを教育していくということが必要なのかなということです。初めての会議だったのでいろんな意見があったが、これが定着していくとそれぞれの役割がわかって連携していけると思う。特に私は、高校との連携が必要と思っており、新聞に高校の志願率が出ていたが、諫早だけでなく全県で倍率が1割に満たないということに危機感を持っており、実際、県でも今、高校改革をやっている。時代に合わせて高校も変わっていかなければいけないし、中学校の進路指導というのにも必要なことだと思う。

[委員]

畑中先生から意見をいただいたのは、今年の11月13日でしょうか。

[教育長]

今年の11月13日に会議を開き、畑中先生には委員長に就任していただき、委員の方に意見をいただいている。

[委員]

連合生徒会の中で「今後の取り組みたいことのグループ討議」と

あるが、各学校でどういう意見が出たのか教えてほしい。

[学校教育課長]

連合生徒会ですが、近隣の学校でいくつかのグループを作って、協議が盛り上がり休憩も入れず50分間意見交換をした。大人が思っている以上に考えていて、例えば、地域に残っている浮立の伝統を残していきたいが、若者が少ないからそれを持ち寄ってやってみたいとか、フルーツバス停などを生かしていきたいなどがあった。ただ学校だけではなく、諫早駅周辺でやるなど駅の賑わい創出に向けたような話や、うないさんにずっとこだわって発言する子もいて、「うない祭りをしたいんだ」とか、伊木力みかんを加工して専用のお店を作るとか、小中連携で総合的な学習の時間に「わがふるさと」ということで諫早の特産と歴史文化について学習をしていることもあって生徒の意識の高さをまざまざと見せつけられた。それが具体的にどんな形で要望となっていくのかは、これから詰めていくところです。

本当に盛り上がって協議しているので、自分の学校で授業するのどちらの会議とどちらが楽しいかと尋ねたら、9割の子がこちらが楽しいと手を挙げてくれた。あとの1割も楽しくなるように、今後しっかり内容を詰めていきたいと思った。最後のところは、教育長の「挑戦と創造 明るく 楽しく 面白く」に繋がるような、生徒たちの取り組みが、無から有を作り出そうとしている楽しさ、何か夢を語るのが楽しく、いつもだったら馬鹿にされるようなことでも、そこに集まる生徒たちは共感してくれる。だからいろんな学校の人と出会うことは、良い機会だと思う。

[委員]

活気のある会議だったと感じた。その様子は、例えば市報や小学生、高校生に向けてSNS発信や諫早市のLINEで周知するなど、何か広報していく予定はあるのか。

[学校教育課長]

ケーブルテレビが来ていた。まず取材をしてもらうことだと思う。SNS等も考えたが個人情報もあり、いろいろ面白おかしく言いすぎると方向が変わってしまうので、生徒たちからあまり発信して欲しくないのもあって、そこは少し一定のラインを敷きながらと思う。

[委員]

幼保小の連携ということで5歳児健診を、こども福祉部と教育委員会が一緒になって、できれば諫早市全体として、5歳児健診のことを考える場をつくっていただけるとより実効性のあるものになると思う。今の諫早市の5歳児健診はすごくよくできていると思う。

さらにきちんとしたものを作れば情報交換や情報共有ができる。
今度、医師会と市役所との協議会があるのでその場で話してみたい。

議 事

議案第13号 諫早市立義務教育学校の校名について
学校改革推進室長 説明

《学校改革推進室長の説明に対する質問・意見》

- ・漢字には漢字の意味があるので、漢字の方がいい
- ・漢字が書けないうちはひらがなで書いてもいいので、ひらがなにこだわらなくてもいいのではないか
- ・「さざんか」は、山茶花高原あるので小長井のイメージはあるが、校名なので入れなくてもよいのではないか

校名候補を「小長井学園」と決定し可決

その他

教育総務課長

- 1 12月の定例教育委員会の日程について
- 2 学校給食交流会について
- 3 1月の定例教育委員会の日程について
- 4 総合教育会議について

17時20分閉会